

第17回 宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和56年11月11日（水）
午後2時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和56年度8～9月期における人工衛星、人工衛星打上げ用ロケット等の打上げ結果の評価に関する審議について
4. 資 料
委17-1 第16回宇宙開発委員会（臨時会議）
議事要旨（案）
委17-2 昭和56年度8～9月期における人工衛星、人工衛星打上げ用ロケット等の打上げ結果の評価に関する審議について（案）

委17-1

第16回 宇宙開発委員会 (臨時会議)

議 事 要 旨 (案)

1. 日 時 昭和56年8月31日 (月)
午後2時～3時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和57年度における宇宙開発関係経費の見積りについて
4. 資 料
委16-1 第15回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)
委16-2 昭和57年度における宇宙開発関係経費の見積りについて

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

“ 委員

“ “

“ “

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

“ 長官官房審議官

文部省学術国際局審議官

通商産業省機械情報産業局次長

吉 謙 雅 夫

齋 藤 成 文

井 上 啓 次 郎

大 塚 茂

加 藤 泰 丸

辻 栄 一

大 崎 仁

(代理：横山)

宮 本 治 男

(代理：吉田)

運輸省大臣官房審議官

“ 気象庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

宇宙開発事業団システム計画部計画課
事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

“ “ 宇宙国際課長

“ “ 宇宙開発課長

小 林 哲 一

(代理：島田)

栗 山 昌 久

(代理：里見)

高 橋 幸 男

(代理：青木)

和 田 全 浩

吉 村 晴 光

中津川 英 雄

吉 野 隆 治

他

6. 議 事

(1) 前回議事要旨の確認

第15回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨案(資料委16-1)が確認された。

(2) 昭和57年度における宇宙開発関係経費の見積りについて事務局より、資料委16-2に基づいて説明が行われ、以下の質疑応答ののち、原案どおり決定された。

齋藤：見直し要望として提出され、第一部会報告において審議された事項及び追加要望事項は、すべて見積りに含まれているか。

事務局：郵政省の衛星搭載用能動型電波リモートセンサー、衛星

搭載用電磁環境観測ミッション機器、実験用静止通信衛星Ⅱ型（ECS-Ⅱ）及び新しい周波数帯を利用した衛星放送関連の研究、並びに運輸省の航空・海上技術衛星（AMES）関連の研究については、ゼロシーリング予算の影響で概算要求が行われないこととなつたため、見積りに入っていない。

これらの研究は、経常研究あるいは関連機関における研究として継続されることとなる。

斎藤：それらの研究については、実質的に中断することのないように担当の省庁は留意されたい。

井上：技術者の海外派遣の経費が少ないのではないか。

吉蔵：来年度は要求の仕方等も工夫し、増額するよう考えてほしい。

昭和56年度8～9月期における人工衛星、
人工衛星打上げ用ロケット等の打上げ結果
の評価に関する審議について(案)

昭和56年11月11日
宇宙開発委員会 決定

1. 昭和56年度8～9月期において宇宙開発事業団が行ったNロケット8号機(F)(N-IIロケット2号機)による静止気象衛星2号(GMS-2)の打上げ及びTT-500Aロケット10号機の打上げ(材料実験に係るものに限る。)の結果を評価するために調査審議を行うものとする。
2. このため、評価に必要な技術的事項について、第四部会において調査審議を行うものとする。この調査審議は、昭和57年2月中旬までに終えることを目途とする。

参考

宇宙開発委員会第四部会構成員

昭和56年10月

(50音順)

部会長	佐貫亦男	日本大学理工学研究所顧問
部会長代理	内田茂男	名城大学理工学部教授
● 専門委員	秋葉鏢二郎	文部省宇宙科学研究所教授
	大島耕一	文部省宇宙科学研究所教授
	栗原芳高	郵政省電波研究所長
	五代富文	科学技術庁航空宇宙技術研究所主任研究官
	小林繁夫	東京大学工学部教授
	中込雪男	国際電信電話株式会社取締役
	長洲秀夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所 宇宙研究グループ総合研究官
	林友直	文部省宇宙科学研究所教授
	* 平井正一	宇宙開発事業団理事
	* 平木一	宇宙開発事業団理事
	前田弘	京都大学工学部教授
	虫明康人	東北大学工学部教授

注) *印の専門委員は、今回の調査審議については、説明者として参加する。